

イアンサ . S . ライズリー RI会長テーマ
 「ロータリー：変化をもたらす」
 2820地区スローガン
 「未来へチャレンジ」



2017~2018年度
 会長 大山 岳夫
 幹事 加部東孝浩

前回の例会報告

第2142回例会 8月10日(木)

於・例会場 PM 0 : 30~1 : 30

- 点鐘 大山会長
- ロータリーソング “我等の生業” 斉唱
- お客様紹介 田山委員
- ・野田弘行様 (水戸西 RC)
- 出席報告 関根委員長

日付	出席	欠席	メーク	出席率	天気
8月3日	22	3	2	88.89%	曇

- 幹事報告 加部東幹事
- ・幹事メモの報告
- 卓話 「地区研修参加報告」
- ★ロータリー財団委員会 加部東幹事



午前中に藤井総括委員長より、ロータリーの現状、会員数、寄附金状況の説明があり、続いて各取り組み発表があった。午後からもグループワークはなく、寄附金及びシェアシステム、ポリオ、地区補助金についての説明があった。内容は前回とほぼ同様、MOU 認定証が全ク

ラブに授与された。また地区委員による出前卓話をするとうり集まるとのことである。出席してみても感想は財団研究会のタイトルだが「会員増強」のようだった。「楫を飛ばす」といったところ、「地域」と「世界」を支えることができるロータリー活動は素晴らしいが、各クラブでテーマを決めて叶えていくことにはかなりの時間と労力が必要に感じた。二者択一や優先順位をつけるならば「地域」(地元)からになるのではないかと。

★職業奉仕委員会 湯浅委員長
 山崎カウンセラーより「職業奉仕活動の現在の位置づけ」について「かつてはロータリーの花形であったが、今現在では必ずしも中心的な位置づけではなくなりつつある」との話が



あった。また高橋 G エレクトより「職業奉仕活動を通じて他業種と交わりもって自己の商売を向上させることに資する」こともその意義のひとつの話があった。午後よりクラブごとに分かれディスカッションが行われ、それぞれのクラブごとの職業奉仕活動が報告された。出前講義に力を入れているクラブが多かった。

午後のまとめで RI 創始者である P・ハリスの「5年間の悪行」の話があり「これによって見聞を広め様々な職業体験を経ることによって自らの能力や魅力を高めもって社会への奉仕を期する」との精神の重要性の話があった。個人的には今のこの国は「5年間の回り道」を許す価値観はなく、同じことを行う人間は「堪え性がないダメ人間」若しくは「堀江貴文のような得体の知れないペテン師」と見做されてしまいかねないことを思えば P・ハリスを範とすることは無理があると考えた。

★青少年奉仕委員会 小野瀬委員長
 7月15日、三の丸ホテルで青少年奉仕委員会がありました。



8月20日にローターアクトのパーベキュー大会が水戸であります。フランス、アメリカ、タイに留学した若い人達の報告会がありました。また、今年のメンバーの挨拶がありました。何故かみんな女の子だったので聞いたら、男の子の応募がないとのこと。

10月7, 8, 9日に大洗子ども城でライラがあるので、皆さんも参加

出来る方は参加してください。また8日(日曜日)は朝7時から大洗神社の清掃があります。来月の理事会で承認を貰えば、クラブの行事になりますので、皆さんよろしくお願いたします。

★クラブ奉仕委員会 系部委員長
 7月17日(月) 水戸三の丸ホテル開催された「クラブ奉仕研究会」に参加して参りました。今回は、次年度、次次年度会長候補者を一堂に集めた初めての会合だそうです。午前中は、吹上 RC の鈴木氏の講演がありました。ロータリークラブ定款の第5条「目的」を 1. 仲間を増やし、共に



奉仕活動をし(クラブ奉仕) 2. 自分自身と自分の職業を磨き(職業奉仕) 3. 地域社会で奉仕活動を行い(社会奉仕) 4. 国際的ネットワークを通じて平和を推進する(国際奉仕)と置き換えたり、ロータリークラブを、「自分と自分の職業を磨きながら、地域社会や国際社会で奉仕する団体」と表現する等分かりやすい内容でした。

午後は、公共イメージと中期計画の話がありました。とくに中期計画については、保証ガバナーも力を入れており、ガバナー訪問時の重点事項だそうです。既に、55クラブ中40クラブが白戸年度中に提出しているそうです。当クラブで対応する場合は、ワーキンググループの設置など組織的な取り組みが必要と思われます。

★社会奉仕委員会



田山奉仕プロジェクト委員長
本年度のロータリーのテーマ「変化をもたらす」、地区の目標「チャレンジに向かって」をテーマにして進めていきますとの社会奉仕委員長のあいさつで始まりました。

1 各クラブの今の社会奉仕活動を変転に立ち返り見つめなおしてみる。

- 2 社会奉仕が地域が求めているニーズに合った奉仕活動を行っているか。
- 3 クラブの全体を含めた奉仕活動が、とくに社会奉仕活動が地域社会にアピールできているか。
- 4 社会奉仕活動が公共のイメージをたかめているか(広報)

*活動事例発表

第1分区～第8分区の8名による社会奉仕活動事例発表がありました。とくに第7分区の牛久ロータリーの発表で、独居老人緊急ペットボトル事業を超高齢社会に伴う奉仕活動として2820地区から全国に広げていけたらと公共イメージ委員長のお話がありました。

★国際奉仕委員会



山崎委員長
7月30日につくば市のホテルグランド東雲で行われました。10時より開始され、地区役員、委員の紹介に始まり、研究会の趣旨説明があり、国際奉仕プロジェクトの目的とは、8項目について説明し、また、プロジェクトの創造性と持続性をどのように促進するのが大切であると、さらに、国際交流共同委員会の使命として、(1)ロータリー案に対して、互いの国と家庭を訪問しあうように奨励する推進力となること、(2)区阿伏兔地区に対して、他国のクラブと地区とのつながりを気づくよう奨励することによって友情の絆を深め、プロジェクトを充実させる。さらに世界平和に貢献する。午後の時間は「この指とまれ」のプロジェクト事業を実施されたクラブの報告と今年の事業提唱について計画されたクラブからの説明がありました。大洗クラブでも大子ロータリーのプロジェクトへ賛同してこれまで行ってきました(大子ロータリーの実績は、タイ東北農村部の小学校へ「浄水器支援事業」)。その他多くのロータリークラブが賛同して世界から「ポリオ」を撲滅させようとして各クラブから献金されているが、世界では財政的に厳しい状況の国や、地域も多く、子供たちに食料なども充分にいきわたらず、生命にかかわるようなところも多くあるので、これからはそちらの方面に多くの支援をすることが大事ではないかという意見も多くありました。

と、さらに、国際交流共同委員会の使命として、(1)ロータリー案に対して、互いの国と家庭を訪問しあうように奨励する推進力となること、(2)区阿伏兔地区に対して、他国のクラブと地区とのつながりを気づくよう奨励することによって友情の絆を深め、プロジェクトを充実させる。さらに世界平和に貢献する。午後の時間は「この指とまれ」のプロジェクト事業を実施されたクラブの報告と今年の事業提唱について計画されたクラブからの説明がありました。大洗クラブでも大子ロータリーのプロジェクトへ賛同してこれまで行ってきました(大子ロータリーの実績は、タイ東北農村部の小学校へ「浄水器支援事業」)。その他多くのロータリークラブが賛同して世界から「ポリオ」を撲滅させようとして各クラブから献金されているが、世界では財政的に厳しい状況の国や、地域も多く、子供たちに食料なども充分にいきわたらず、生命にかかわるようなところも多くあるので、これからはそちらの方面に多くの支援をすることが大事ではないかという意見も多くありました。

★米山奨学委員会



大山会長

8月5日(土)、2820地区米山記念奨学研究会がつくば市山水亭で開催されました。私は大内俊夫委員長の代理として出席しました。本年度、2017年度米山奨学生は筑波大学の韓国からの留学生、金東鉉(キム ドンヒョン・男)さんで、世話クラブはひたちなか RC で、大洗 RC は準世話クラブとして数

回クラブに訪問することになりました。研究会では、午前中は RI 第 2750 地区東京米山友愛 RC の朴 貞子氏が「米山奨学生・学友会・ロータリアンとして思う事」と題しての基調講演がありました。朴(パク)氏は国籍は中国で朝鮮民族系で北朝鮮とは川ひとつのところです。中国吉林省延辺大学卒業で4年間獣医師として仕事をしていました。その後、日本に就学ビザで来日し日本語を学ぶも学校が倒産し皆不法滞在になったが彼女は運よく大阪府立大学大学院生命環境科学研究科獣医学部に入學し、RI 第 2640 地区岸和田 RC で米山奨学生になりました。その後夫が他界しシングルマザーとなりましたが、民間企業に就職(技術ビザ)、大学ベンチャー企業就職(研究ビザ)、東京工業大学就職(教授ビザ)などを経て2010年米山友愛RCに入会(チャーターメンバー)、日本人と再婚し担当教授の推薦状により申請2ヶ月半で永住権を取得しました。現在は仕事の傍ら、日本の高校生たちに科学の楽しさを伝える活動をし、そして米山奨学生でお世話になった事を通して社会貢献活動で国際交流として高校生達に国家、文化、生活、教育、経済、宗教などがそれぞれのお国柄で違う事を教え高校生達に自分自身を見つめ直すきっかけ作りを目的としています。グローバル人材を育成する、キャリアデザインを考える、次世代へのリーダーを育成するきっかけ作りをしたい。米山奨学生と高校生との国際交流では米山奨学生を中心として8か国の講師陣と生徒とで計320名の交流を行う活動を継続し日々参加人数が増えています。米山奨学生の時にロータリアンと共に活動し学んだ多くの社会奉仕活動が希望になり力になっている。朴氏ご自身が米山奨学生からロータリアンになり活動するには「一期一会」を大切に多くの人とのかかわりが無駄でないと理解できます。

次回例会
第2144回例会 8月24日(木)
18:30 ~ 於:大洗ホテル
納涼家族親睦会

今月は会員増強・新クラブ結成月刊です。



**ロータリー:
変化をもたらす**